

# 迎春

写真／あづま総合運動公園  
(福島市)

公益社団法人  
福島県トラック協会 広報誌

## 新年のご挨拶

### 12 適正化

- ◆「プラン2025目標達成 座学セミナー」開催のご案内
- ◆運行管理者試験受験対策勉強会のご案内
- ◆「標準的な運賃」活用セミナー（応用編）を開催

### 11 青年部会／女性部会

- ◆青年部会が役員会を開催
- ◆女性部会が研修会を開催

### 16 支部

- ◆県北支部が親睦ボウリング大会を開催
- ◆県中支部が交通安全活動基金贈呈及び交通遺児激励金を寄付
- ◆県南支部が安全パトロールを実施
- ◆相双支部が年末事故防止講習会を開催

### 15 事業所

- ◆磐城通運(株)が「エコドライブ活動コンクール」で優秀賞を受賞
- ◆福島県北運輸(株)が「安全運転講習会」を実施

### 11 トピックス

- ◆「燃料価格高騰経営危機突破総決起大会」に参加
- ◆令和4年度 政府予算の獲得に向けた要望聴取会について

# わだち

2022年

1

vol.492

### 02 県ト協

- ◆年末年始の輸送等に関する安全運動実施について
- ◆セーフティチャレンジ参加事業所様へ！ 県ト協へのお申込みを忘れずに！！
- ◆令和3年度 各種助成事業執行状況
- ◆第3回広報委員会を開催
- ◆令和3年度トラック運送事業者のための人材確保セミナーを開催
- ◆第1回総務委員会を開催
- ◆「令和3年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」のご案内
- ◆支部における適性診断（初任・適齢）の受診についての注意

### 18 陸災防

- ◆荷役作業安全ガイドライン講習会のご案内

トラックは生活と  
経済のライフライン



# 県ト協 年末年始の輸送等に関する安全運動実施について

輸送繁忙期にあたる年末年始に輸送に関する事故防止について「年末年始等に関する安全総点検」、「正しい運転・明るい輸送運動」、「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」等を実施します。

総点検においては①安全管理の実施状況、②自然災害、事故等発生時の安全確保のための整備・構築状況、③テロ防止のための警戒体制の取組、テロ発生を想定した訓練の実施状況、④感染症対策の実施状況の4点に特に留意することが掲げています。各事業所においては「運動の進め方」等の実施細目を策定の上、確実に実施し交通公害の防止、輸送秩序の確立等をはかりトラック事業のみならず社会に貢献されるよう最善の努力をお願いいたします。

運動の詳細は、先月号わだちに同封した同内容の文書をご参照、又は、県ト協ホームページの掲載をご参照いただき、運動実施結果については“自主点検表（トラック）全4ページ”により **令和4年1月14日(金)までに必ず報告**願います。

## CONTENTS

新年のご挨拶	公益社団法人福島県トラック協会……………	3
	公益社団法人福島県トラック協会 会長 佐藤 信成……………	4
	東北運輸局福島運輸支局 支局長 有路 仙之……………	6
	福島県知事 内堀 雅雄……………	7
	福島県警察本部 交通部長 佐治 誠……………	8
県 ト 協	年末年始の輸送等に関する安全運動実施について……………	2
	セーフティチャレンジ参加事業所様へ！県ト協へのお申込みを忘れずに！！……………	5
	令和3年度 各種助成事業執行状況……………	9
	第3回広報委員会を開催……………	10
	令和3年度トラック運送事業者のための人材確保セミナーを開催……………	10
	第1回総務委員会を開催……………	10
	「令和3年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」のご案内……………	14
	会員だより……………	15
	支部における適性診断（初任・適齢）の受診についての注意……………	16
	1月の行事予定……………	20
適 正 化	「プラン2025目標達成 座学セミナー」開催のご案内……………	12
	運行管理者試験受験対策勉強会のご案内……………	13
	「標準的な運賃」活用セミナー（応用編）を開催……………	16
青 年 部 会	青年部会が役員会を開催……………	11
女 性 部 会	女性部会が研修会を開催……………	11
支 部	県北支部が親睦ボウリング大会を開催……………	16
	県中支部が交通安全活動基金贈呈及び交通遺児激励金を寄付……………	17
	県南支部が安全パトロールを実施……………	17
	相双支部が年末事故防止講習会を開催……………	17
事 業 所	磐城通運(株)が「エコドライブ活動コンクール」で優秀賞を受賞……………	15
	福島県北運輸(株)が「安全運転講習会」を実施……………	15
陸 災 防	荷役作業安全ガイドライン講習会のご案内……………	18
	技能講習等実施予定……………	20
お 知 ら せ	交通事故統計……………	20
ト ピ ッ ク ス	「燃料価格高騰経営危機突破総決起大会」に参加……………	11
	令和4年度 政府予算の獲得に向けた要望聴取会について……………	11



当協会広報誌「わだち」では会員事業所の皆様に役立つ情報の提供に努める所存ですので、本年もご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

# 謹賀新年

皆様には幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

令和4年元旦

公益社団法人福島県トラック協会  
会長 佐藤 信成 (丸カ運送株)

## 副会長

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 蓬田 隆 信 (福島倉庫株)     | 松島 輝 (日本通運株郡山支店) |
| 橋本 一 美 (有)ハシコー梱包運輸 | 菅野 高 志 (有)菅野運送店) |
| 松尾 活 秀 (三つ山運送株)    |                  |

## 理事

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 佐藤 勝 則 (JAパールライン福島株) | 佐藤 光 俊 (福島運送株)  |
| 鈴木 勝 文 (福島陸運株)       | 佐藤 仁 (株丸や運送)    |
| 佐伯 由紀子 (株サエキ輸送)      | 小野田 弘 明 (郡山運送株) |
| 金野 直 輝 (第一貨物株郡山支店)   | 安齋 豪 之 (拓進運輸株)  |
| 高橋 哲 也 (あだち運送株)      | 太田 正 一 (株北海興業)  |
| 上石 美代子 (郡山トラック運送株)   | 菊池 良 造 (株海老屋運送) |
| 古川 圭 一 (株郡山南部運輸)     | 緑川 直 人 (小田川運輸有) |
| 細谷 博 之 (会津本郷貨物運送株)   | 大竹 博 史 (株ユミタ運輸) |
| 遠藤 秀 弥 (中村貨物運送株)     | 西山 由美子 (株丸東)    |
| 伊藤 浩 一 (いわきカーゴ株)     | 割谷 明 裕 (岡田陸運株)  |
| 鈴木 孝 雄 (磐城通運株)       | 大泉 元 一 (有)大泉運輸) |

## 専務理事

荒川 孝 一

## 常務理事

穂積 央 男

## 監事

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 宮崎 泰 明 (スナンエキスプレス株) | 大内 孝 浩 (ダイトーロジスティックス株) |
| 吉田 健 二 (成田運輸株)      | 林 富士雄 (八島運送株)          |
| 中野 光 (遠野運送株)        |                        |



## 新年のご挨拶

公益社団法人福島県トラック協会  
会長 佐藤 信成



新年あけましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎えるにあたり謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素より当協会の事業活動に対しまして格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年6月に、右近 八郎 前会長（マクサム通運株式会社）の後を受けて会長に就任し、初めての新年の挨拶となります。私感ではありますが、トラック業界を取り巻く環境と喫緊の課題について述べさせていただきます。

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故から10年。放射性汚染物質と風評被害、そして一昨年から猛威を振るう新型コロナウイルス感染症への対応と、目に見えない脅威に悩まされ続けた状況にあります。さらには、燃料費の高騰（前年度比11月料金1ℓ当り35円前後高、単月100kℓ消費する事業所で350万円前後アップ）による経営への影響が懸念される中、働き方改革関連法において、トラック運転乗務員に対し時限措置として猶予されていた法改正への措置が、翌年令和5年4月1日より時間外労働賃金の割増し（60時間以上5割増）、翌々年令和6年4月1日には、時間外労働の上限規制（年間960時間・月間80時間）が適用されます。

本年度は、「働き方改革」に向けた取引環境の改善と労働環境の改善をより一層求められる年となります。その中の問題の一つに「賃金の支払い」があげられます。労働の対価として適切に給与に反映され支払われているかということです。基本給と各種手当（非課税項目を除く）を合計した基本時給により、「勤務労働時間」、「残業労働時間」、「深夜労働時間」、「休日労働時間」を管理し、給与明細に明記して賃金の支払いを行わなければなりません。多くの事業所が、歩合制（売上歩合または、走行距離歩合）による賃金支払いが行われているのが実態と聞いており、前記の労働時間手当が給与明細にない事業所は、毎月「賃金未払い」を発生させていることとなり訴訟の対象となり得ることが懸念されます。

この問題を解決するためには、関係省庁の支援、生産性向上に向けたIT機器導入、さらに適正運賃の収受が必要です。改正「貨物自動車事業法」の4本柱（1.規制の適正化、2.事業者が遵守すべき事項の明確化、3.荷主対策の深度化、4.標準的な運賃の告示制度の導入）の中で、特に「標準的な運賃」の活用を推進していかなければなりません。低運賃の改善策とし国土交通省が「適正な運賃」収受に向けた荷主業界への周知活動を頻繁に行っているのに対して、福島県は、「標準的な運賃」の届出率が12月14日時点で東北運輸局管内



で最下位の58.4%と低い数値が現状であります。給与所得の改善、労働者不足の解消等、諸問題解決の原資として考えなければなりません。

また、全日本トラック協会は、国に対する働き方改革予算要望として、「標準的な運賃の普及・浸透に向けた支援」、「働き方改革実現のための諸対策に係る補助・助成の拡充」の2つを掲げております。適正運賃の取受に向けて会員の皆様には、今後とも何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。

結びに、厳しい環境下にある時こそ、法令遵守のもと交通事故、労働災害事故の削減、飲酒運転の根絶に努めることが、経営に関して最大の費用削減であると考えますので、会員の皆様には特段の取り組みをお願いするとともに、今年度は、イベント・セミナー等もコロナの状況を見ながらできるだけ開催していきたいと思っておりますので積極的に参加いただきたくお願い申し上げます。

会員各位のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げまして新年の挨拶といたします。



県ト協

## セーフティチャレンジ参加事業所様へ！ 県ト協へのお申込みを忘れずに！！

本年度より「県ト協セーフティチャレンジ」及び「事故防止コンクール事業所表彰」への申込み方法がインターネット申請に変わります。つきましては、「わだち」12月号に同封の「令和3年度 県ト協セーフティチャレンジ参加申込み方法のご案内」をご参照のうえ **協会HPから申し込み下さい**。（スマートフォンからもお申込みいただけます）

ホームページ



申込期間

令和4年1月1日(土)～1月21日(金)

※副賞抽選準備の都合上、**期限厳守**をお願いいたします。

情報の取扱いについて

今回ご登録いただきましたメールアドレスなどの情報は、当事業のお問い合わせに対するご回答のみに利用し、他の目的、他事業では一切利用致しません。

お問合せ

(公社) 福島県トラック協会 担当：遠藤

☎ 024-558-7755

(音声ガイダンス「1」)







## 「令和4年・新年のご挨拶」

東北運輸局福島運輸支局  
支局長 有路 仙之



新年、明けましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会 佐藤会長はじめ会員の皆様方には、日頃より国土交通行政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方には、物流を通じて社会に貢献されるとともに、交通事故防止や環境対策にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

昨年も一昨年に続く新型コロナウイルスの感染症の影響により、外出自粛や3密回避、また物流の面では、巣ごもり需要の増加等を背景に、輸送の小口化・多頻度等、私たちの生活は大きく変化しております。このような中において、地域の生活や経済活動を支えるため、自らの感染のリスクと大きな不安の中、献身的に使命と責任を果たしていただいている会員の皆様、トラックドライバーの皆様に重ねて感謝を申し上げます。

さて、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故の発生から10年が経過しました。関係皆様のご尽力により被災地の復興に向けた取組は着実に進んでおりますが、一方で福島県においては、今なお3万4千人を超える方々が県内外での不自由な避難生活を余儀なくされているなど、真の復興への道りは未だ半ばにあると言わざるを得ません。こうした中、県内の除染等により発生した大量の汚染土壌等の廃棄物につきましては、福島復興支援輸送協同組合様のご尽力により、中間貯蔵施設への搬入が進められたことに感謝申し上げます。

「福島の復興」が更に進むことを願うとともに、福島運輸支局としましても、昨年度からの「第2期復興・創生期間」において、引き続き被災地の方々に寄り添った復興施策を実施してまいります。

最近の県内の景気動向は、「一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いている。」とされております。

トラック運送業界においても、新型コロナウイルス感染拡大による影響はもとより、従前からの課題である取引環境改善のための取組、運転者不足や働き方改革への対応に加え、今般の燃料価格の上昇により依然として厳しい経営環境が続いているものと認識しております。

福島運輸支局といたしましては、平成27年に設置した「トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県協議会」において、関係皆様のご協力をいただきながら、トラック事業者と荷主との取引環境の改善やドライバーの長時間労働の是正等の課題解決に向けた取組を進めてまいります。運転者不足については、支局長による高等学校訪問をはじめとした人材の確保・育成に向けた取組を引き続き実施し推進してまいります。

国土交通省は、平成30年に改正された貨物自動車運送事業法に基づき、令和2年に「標準的な運賃」の告示を行いました。この標準的な運賃は、トラックドライバーの労働条件を改善し、トラック運送事業がその機能を維持しながら国民生活と経済を支えていくために、法令を遵守して経営する際の参考となる運賃を示すことを目的としております。

今後も標準的な運賃が実勢運賃に反映されるよう、トラック事業者、荷主企業の皆様に対して浸透を図る取組を行ってまいります。

自動車運送事業にとって、「輸送の安全・安心の確保」は最大の使命であり、そのため、企業の経営トップから現場乗務員に至るまで輸送の安全の重要性を認識し、絶えず安全性の向上に企業全体で取り組むことが重要です。

福島運輸支局といたしましても、地域と利用者ニーズに応えた施策はもとより、「安全」と「安心」を根幹に据えて、貴協会と連携しながら各種課題に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福島県トラック協会並びに会員事業者皆様方の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 「県民みんなで創り上げる 福島未来」

福島県

知事 内堀 雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様には、日頃から本県の交通行政全般にわたり、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本県の物流サービスの重要な担い手として、産業活動を支え、県民生活の向上に御尽力いただきますとともに、運送事業を通じた交通安全の推進に積極的に取り組まれており、深く感謝申し上げます。

昨年は、急速に感染拡大した新型コロナウイルス感染症から、県民の皆様の命と健康を守るため、感染症対策に総力を挙げて取り組んだ一年でした。そのような中、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催と本県ゆかりの選手達の活躍を始め、全国新酒鑑評会での金賞受賞数8回連続日本一の快挙、トップブランド米「福、笑い」が本格デビューを果たすなど、明るい話題も数多くありました。

また、震災と原発事故から十年が経過し、この間、県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、避難指示の解除や生活環境の整備が進み、昨年末には、葛尾村や大熊町の帰還困難区域の一部において準備宿泊が開始されたほか、福島ロボットテストフィールドを始めとする福島イノベーション・コースト構想の進展、復興支援道路である相馬・福島道路の全線開通、ふくしま12市町村移住支援センターの開所など、復興に向けた取組が着実に前進しております。

一方で、前例のない複合災害からの復興はいまだ途上であり、避難指示区域を抱える自治体においては、現在も復興のスタートラインに立てていない地域もあるのが現状です。また、昨年4月には政府において、「ALPS処理水の処分に関する基本方針」が決定され、この十年間、県民の皆さんが復興に向けて取り組んできた努力、積み上げてきた成果が水泡に帰してしまうのではないかと懸念されています。県といたしましては、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策はもとより、引き続き、原子力災害に伴う複雑で困難な課題の解決に努めるとともに、地方創生・人口減少対策などに全力で取り組んでまいります。

まず、新型感染症対策としましては、引き続き、県民の皆様に対し、基本的な感染防止対策の徹底をお願いするとともに、医療提供体制の充実・強化を図り、深刻な影響を受けている地域経済の再生・活性化にもしっかりと取り組んでまいります。

次に、避難地域の復興・再生につきましては、被災者の生活再建と産業・生業の再生を始め、廃炉と汚染水・処理水対策、帰還困難区域の復興・再生、風評と風化の問題など、現場の声にしっかりと耳を傾けながら、取組を進めてまいります。

また、新型感染症の影響により生活習慣が大きく変化し、心身の健康状態の悪化が懸念されることから、県民参加型の健康づくりを促進する取組などにより、全国に誇れる健康長寿県を目指してまいります。

さらに、地域資源を活用した、福島ならではの「暮らし」や「しごと」を提案し、価値観の変化や地方移住への関心の高まりを的確に捉えながら、関係人口の創出を図るなど、本県の強みをいかした地方創生・人口減少対策を進めてまいります。

今年4月には、新たな福島県総合計画がスタートします。県民の皆様と対話を重ねながらつくった「県民みんなの計画」です。この計画の下、県民の皆様と共に力を合わせながら、一つ一つ課題を克服し、目標を実現してまいります。そして、県民の皆様お一人お一人が希望を持って、いきいきと暮らすことのできる未来を創るため、これからも果敢に挑戦を続けてまいります。今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。



## 年頭の御挨拶

福島県警察本部  
交通部長 佐治 誠



新年、あけましておめでとうございます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様には、日頃より警察行政の各般にわたりまして、深い御理解と多大な御支援を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

昨年中は、夜光反射材の普及活動をはじめ、各事業所におけるセーフティチャレンジ事業への参加やトラックドライバー・コンテストを通じた実践的な安全運転教育、アニメーションを用いた「横断時における意思表示」「夜光反射材の着用促進」に関する広報啓発動画の作成への協力のほか、各季の交通安全運動への積極的参加など、協会一丸となって様々な活動を推進され、県内の交通事故防止に多大な御尽力をいただきました。

近年の県内における交通事故の発生状況につきましては、皆様をはじめとする関係機関・団体の方々の懸命な取り組みにより発生件数、傷者数、死者数のいずれも、減少傾向で推移しているところであり、この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

しかしながら、近時の交通死亡事故の特徴としましては、第一に高齢化社会の進展に伴い、高齢者が関与する事故が多いという特徴があげられます。

昨年の交通死亡事故を見てみますと、

- 事故死者の約6割を65歳以上の高齢者が占めていること
- 約半数が夜間に発生していること
- 四輪車乗車中の死者のシートベルト着用率が約半数と低調であること
- 悪質な違反を伴う死亡事故が前年に比べて大きく増加したこと
- 青年運転者による死亡事故が前年に比べて大きく増加したこと

などが上げられることから、県民を取り巻く交通情勢は未だ楽観できる状況にないと考えられます。

このため、県警察では、本年の重点目標の一つに「総合的な交通事故防止対策の推進」を掲げ、悲惨な事故から県民の尊い命を守るため、地域と一体となった交通安全活動を継続的に推進するとともに、多角的見地から交通事故の発生実態や交通情勢の変化を分析し、各種重大交通事故防止対策の推進や悪質・危険運転者の根絶に向けた交通指導取締り、安全で快適な交通環境の整備、効果的な運転者施策の推進など、総合的な対策により交通事故を抑止し、秩序ある安全で快適な交通社会の実現を図ることとしております。

皆様方におかれましては、本年も引き続き県、警察や地域と一体となった交通事故防止活動を展開されますとともに、安全・安心な交通社会の実現に向け、なお一層の御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

年頭に当たり、公益社団法人福島県トラック協会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御多幸をお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

以 上



# 県ト協 令和3年度 各種助成事業執行状況

令和3年度各種助成事業の令和3年12月20日現在の執行状況は下表のとおりとなっています。  
 助成事業によっては、助成金申請書の提出期限前であっても、予算額に達した場合は申請しても助成されませんので十分注意してください。  
 また、「執行状況」については、本表作成時点後の申請状況により変わりますので、助成事業の利用を予定している方は、早めの申請をされるようにしてください。  
令和3年12月20日現在

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額	執行状況 (%)
交通安全対策事業費	1 SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	670円/人・年(上限)	1事業者150人上限 (1人 年1回限度)	75%
	2 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,400円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	70%
	3 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人 <b>事前受付は終了しました</b>	一人年1回 1会員50人まで	86%
	4 睡眠時無呼吸症候群精密検査(PSG)	SAS検査の結果、精密検査の対象となった者に検査費用の助成	20,000円/人	一人年1回	50%
	5 脳ドック受診	運転手(40才以上)の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人・年(上限)	1事業者 15名まで	44%
	6 ドライバー研修	安全運転研修施設などにドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 全額 全ト協主催の特別研修 全額 Gマーク取得事業所 全額 その他 7割	1事業者 10名まで	54%
	7 EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1事業者 15台上限	98%
	8 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携 40,000円(20,000円) 標準型 20,000円(20,000円) 簡易型 10,000円(10,000円) ※( )書きの金額は、国の補助金を受けた場合	1事業者 15台上限	85%
	9 安全装置	後方・側方視野確認支援装置、呼吸吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	各々装着時:37,000円/台 後方・側方視野確認支援装置の同時購入装着時:50,000円/台 ※側方視野確認支援装置は車両総重量7.5トン以上	1事業者 15台上限	57%
	10 フォークリフト技能講習受講料	陸上防の行うフォークリフト運転技能講習の受講料に対する助成	4,000円/人		47%
	11 衝突被害軽減ブレーキ装着車	中型車を対象に、中小企業者が衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	50,000円/台 <b>お問合せください</b>	1事業者 2台上限	100%
	12 準中型・中型・大型免許助成	従業員に準中型、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許 40,000円/人上限 中型免許(二種は除く) 75,000円/人上限 大型免許(二種・特殊は除く) 150,000円/人上限 けん引免許 50,000円/人上限 中型限定解除 30,000円/人上限	1事業者 50万円上限	84%
	13 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,500円/人・年(上限)	車両台数×1.2倍まで	58%
	14 血圧計	中小企業事業者が全自動血圧計の導入に要した経費に対する助成	1台 70,000円	1事業所2台	60%
	15 女性用休憩施設等整備	女性従業員用の休憩室、トイレ等の増改築経費に対する助成	工事経費の1/2(上限300,000円)	1事業者 1施設 年度内1回 (本社及び営業所含)	31%
交通公害対策費	16 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚(上限) エア・温水式ヒーター 60,000円/基(上限) 蓄冷式クーラー(リヤ・三菱) 50,000円/基(上限) 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー/デンソー、UD、日野) 50,000円/基(上限) 車載バッテリー式冷房装置 60,000円/基(上限)	電気式の毛布・マット・ベッド30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー・車載バッテリー式冷房装置 3基	31%
	17 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費に対する助成	小型 新車 20,000円 中型 新車 40,000円 大型 新車 60,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	1事業者 15台	50%
	18 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費に対する助成	2,000円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	1事業者 150本	92%
研修・調査事業費	19 中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座を受講した場合の受講料に対する助成	受講料の2/3相当額	10人まで	84%
	20 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者1回/年 (支店、営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得・更新のどちらか1回)	64%
基金運営事業費	21 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.3% ポスト新長期車 // 0.3% 環境対応車・省エネ関連機器 // 0.3%	近代化基金 1会員 3千5百万円 ポスト新長期 1会員 7千万円 低公害車等 1会員 3千5百万円	63%
	22 信用保証料	信用保証料の額が50,000円まで 全額 50,000円を超えた額の1/2を加えた額	信用保証料の額が50,000円まで 全額 50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 100,000円	49%
	22 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が100,000円まで 全額 100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 200,000円	41%
	緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		82%
適正化事業費	23 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,500円/人・年 基礎講習 5,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)	75%

注1) 「制度の概要」は、助成制度の概略を記載したもので、詳細は助成要領等で確認してください。  
 注2) 本表は、会員を対象としたもので、Gマーク取得の非会員に対する助成措置は省略してあります。  
 注3) 「執行状況」は、予算額に対する執行率で「%」で表示します。概ね90%を超えたときは「締切間近」と、また、予算額に達した場合は「終了」と表示します。

## 県ト協 第3回広報委員会を開催

福島県トラック協会が内外的に行う広報活動について協議する、第3回広報委員会が、12月3日(金)に委員7名が出席し郡山市「県中研修センター」において開催された。

荒川委員のあいさつに続き、「令和3年度 広報事業に係る各種事業計画」の活動について報告され、新たに制作した「ふくトラくん」がデザインされた法被がお披露目された。また業界のイメージアップ案や広報委員を対象にした研修会の開催について協議が行われた。



## 県ト協 令和3年度トラック運送事業者のための人材確保セミナーを開催

令和3年度トラック運送事業者のための人材確保セミナーが12月7日(火)に郡山市「県中研修センター」において、全日本トラック協会と福島県トラック協会共催のもと実施された。

今回のセミナーは昨今の新型コロナウイルス状況も鑑み、参加人数に制限を設け実施し当日は51名が参加した。

セミナーでは、トラック運送事業、物流政策等の調査・研究、コンサルティング業務で数々の実績を残されている日本PMIコンサルティング(株)小坂 真弘 氏から「新時代」における運転者人材の実態、運転者人材等の採用、人材が定着するための職場環境の整備について講演が行われた。

当県トラック協会では今後も全日本トラック協会と協力し、安定した輸送力の確保に寄与していく。



【小坂 真弘 氏による講演の様子】



【会場の様子】

## 県ト協 第1回総務委員会を開催

本年度の第1回目となる総務委員会が12月9日(木)に委員13名が出席し郡山市「県中研修センター」において開催された。

蓬田 隆信 委員長のあいさつに続き、議題である「令和4年度支部交付金」、「令和4年度定時総会」、「災害対策・危機管理体制」、「理事・監事の定年制並びに会長職任期のあり方」について委員による活発な協議が行われた。



## トピックス 「燃料価格高騰経営危機突破総決起大会」に参加

昨今のガソリン、軽油などの燃料費高騰の影響を受け、運輸業の経営にも多大な影響が出ていることから12月2日(木)に東京都内において自民、公明両党の国会議員を招き「燃料価格高騰経営危機突破総決起大会」が実施された。

当大会は全日本トラック協会、全国ハイヤー・タクシー連合会、日本バス協会の連名により開催され、当協会からは佐藤 信成会長をはじめ3名が現地にて参加した。

当日YouTubeでLIVE配信された当大会は、全国の運輸業者らが総決起大会を開くことにより、国に対し業界の危機的状況を訴え、打開をすることを目的として開催された。



## トピックス 令和4年度政府予算の獲得に向けた要望聴取会について



自由民主党福島支部連合会主催の令和4年度政府予算の獲得に向けた要望聴取会が12月4日(土)に福島市「ウェディングエルティ」にて開催され、要望内容として①各省庁を通じ県内の全荷主に「標準的な運賃」の周知と理解②県内事業用貨物自動車の県内高速道路IC間の無料化③集配数量が採算確保に至るまで、路線貨物集配運送事業者が毎日集配出来る体制構築に向けた支援の要望事項3項目について福島県トラック協会として要望した。要望に対し聴取会に出席した衆議院議員、県会議員と意見を交換した。

## 青年部会 青年部会が役員会を開催

青年部会(鈴木 孝雄 部会長)は12月17日(金)に郡山市「県中研修センター」において、今年度3回目となる役員会を開催した。

役員会では、例年実施している「物流交流事業」、「全日本トラック協会青年部会の社会貢献活動」、東北六県が持ち回りで担当し、本年は当県がホスト県となり開催した「令和3年度 全日本トラック協会青年部会東北ブロック大会」について報告され、今年度の全体研修会開催に向けた協議が行われた。

## 女性部会 女性部会が研修会を開催

女性部会(永山 忍 部会長)は12月16日(木)に郡山市「県中研修センター」において部会員17名が参加し、災害に強い組織を作るための研修会を開催した。

講師に(有)横山物産 代表取締役 横山 秀明 氏をお招きし、震災から復興するまでの実例や取組みなどの講演が行われ、有事を想定した環境づくりなどについて理解を深めた。その後、部会から要望があった、「適正化事業に係る巡回指導の現状」について福島県トラック協会適正化事業部部长より説明がされた。



**適正化****「プラン2025目標達成 座学セミナー」開催のご案内****Gマーク評価点 管理者は1点、運転者は2点付与**

全日本トラック協会では、令和7（2025）年までに、事業用トラックを第一当事者とする死者数と重傷者数の合計を970人以下とし、飲酒運転ゼロを目指すという目標を掲げ、死者数と重傷者数の合計を車両台数1万台あたり「6.5人以下」とすることを全都道府県の共通目標とする「トラック事業における総合安全プラン2025（プラン2025）」を策定したところです。

福島県においてもこの数値目標を達成するため、「プラン2025」の内容と「交差点事故」・「追突事故」の防止を中心テーマに、最新の情報を織り込んだ事故防止対策についてご理解いただくためのセミナーを実施致します。

つきましては、業務ご多用の折とは存じますが、是非ともセミナーにご参加賜りたくよろしくお願ひ致します。

**1. 日 時**

令和4年1月27日(木) 13:30~15:00

- (1) 「事業用トラックにおける事故の傾向と防止対策」（1時間程度）
- (2) アンケート記入（10分程度）

**2. 場 所**ビッグパレットふくしま コンベンションホール  
郡山市南二丁目52番地**3. 講 師**

SONPOリスクマネジメント株式会社より派遣

**4. 対 象**

経営者および管理者（現場での安全を管理される方）等

**5. 募集人数**定員250名（先着順。定員になり次第、締め切ります）  
※感染症対策のため1営業所2名までで申し込みください**6. 申込方法**

「参加申込書」は既に12月1日付けで会員各位にご案内しているFAXまたは当協会ホームページに掲載の12月3日の同セミナー開催の案内からダウンロードしてください。

申し込み期限が令和4年1月14日までとなります。

**7. 主 催**

全日本トラック協会／福島県トラック協会（共催）

**8. 注意事項**

新型コロナウイルス感染予防の為、ご来場の際は三密を避ける等の国や県が示すガイドラインに沿っての行動をお願いします。

また、新型コロナウイルス感染状況により、中止や延期など変更の可能性がありますので予めご了承下さい。

**【お問合せ】 福島県トラック協会 適正化事業部**

TEL 024-558-7755

FAX 024-558-7731

E-mail : moriguchi@fukutora.jp



# 適正化 運行管理者試験受験対策勉強会のご案内

今般、当協会の主催により下記の通り受験対策として勉強会を開催いたしますので、受験される方、またはこの機会に勉強したい方がおられましたら、ぜひ受講されますようご案内いたします。

記

**日時**  
 令和4年  
**2月4日(金)**  
 9時～17時 (受付8時30分より開始)

**場所**  
 福島県トラック協会  
**研修センター 2F大会議室**  
 (福島市飯坂町平野字若狭小屋32)

**講習内容**  
 関係法令の研修等受験指導等  
 講師 **(株)輸送文研社**

**対象**  
 福島県トラック協会  
**会員事業所**

**応募定員**  
**80名**  
 (先着順での受付になる為、定員になり次第締め切ります)

**テキスト**  
 (株)輸送文研社発行の「運行管理者国家試験 貨物編 令和3年度受験対策版」  
 ※過去のテキストや輸送文研社以外のテキストでは受講できません

**受講料**  
**1名 3,000円**  
 (指定の輸送文研社発行テキストをお持ちの方は、1,000円)

**申込・支払**  
 下記申込書に記入し、FAXまたは、郵便にて申し込みください。  
 当日、受付時でのお支払いとなります。その際に領収書・テキスト等をお渡しいたします。

**申込期日**  
 令和4年 **1月26日(水)**迄

**問い合わせ**  
 (公社)福島県トラック協会 適正化事業部  
 担当:菅野(誠)、森口、菅野(陽)  
 住所:福島市飯坂町平野字若狭小屋32  
 TEL:024-558-7755 FAX:024-558-7731

コロナウイルス感染予防の為、発熱や体調のすぐれない場合、受講をご遠慮させていただくことがございます。また、受講の際は必ずマスクの着用をお願いいたします。



## 運行管理者試験受験対策勉強会 受講申込書

- 1 事業所名 (資料送付先および電話番号を明記して下さい) ※電話・FAXは日中連絡が取れる番号
- (1) 事業所名 \_\_\_\_\_
- (2) 所属支部 (○で囲む)   県北    県中    県南    会津    相双    いわき
- (3) 郵便番号                    \_\_\_\_\_
- (4) 住 所                            \_\_\_\_\_
- (5) 電話番号                            \_\_\_\_\_                            FAX番号                            \_\_\_\_\_
- 2 受講希望者名                            \_\_\_\_\_

※(株)輸送文研社「運行管理者国家試験貨物編令和3年度受験対策版」を既にお持ちの方はご連絡ください。  
 ※過去のテキストや輸送文研社以外のテキストでは受講できませんのでご注意ください。

※試験の申込ではありません。試験受験者を対象とした受験対策のための勉強会です。  
 ※当勉強会のご案内については、本広報誌「わだち」掲載前に、全会員事業者様へ一斉FAX及び当協会ホームページでもご案内し広く周知しております。  
 おかげ様で当勉強会は受験者の皆さまから大変好評を得ており、本広報誌が届く前に募集締め切りとなる場合がございますので、その際はご容赦ください。

# 県ト協 「令和3年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」のご案内

現在、トラック運送業界においては、トラックドライバー等の人材確保が大きな課題となっており、業務の効率化・生産性向上が急務となっています。

この問題を解決するため、ITなどのデジタル技術を活用した、情報化推進による生産性の向上を支援すべく、「物流DX」を題材とした標記セミナーを開催します。

つきましては、「物流DX」に関心がある方は、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

<b>日時</b>	令和4年 <b>2月4日(金)</b> 13:00~16:00 (受付12:30開始)	<b>参加費 無料</b>	<b>講師</b>	ロジクエスト株式会社 代表取締役 <b>清水 一成 氏</b>
<b>場所</b>	郡山市「 <b>県中研修センター</b> 」 2F 大研修室 郡山市喜久田町卸三丁目5			
<b>研修内容</b>	<b>「物流DX」</b> について			
<b>申込み</b>	下記にご記入のうえ <b>FAX 024-558-7731</b> 迄お送りください。 <b>(令和4年1月27日☎必着)</b>			
<b>募集定員</b>	<b>50名</b> ※先着順 (定員になり次第、締め切りとなります)		<b>問合せ</b>	<b>福島県トラック協会 業務部</b> (遠藤) TEL: 024-558-7755

**【講師プロフィール】**

日本大学経済学部卒業後、複数の企業で人材・品質管理等に携わったのち、物流コンサルティング企業で培った25年以上の経験をもとに、これまでに700社、7,000人以上に教育研修を行う。現場での失敗から学んだ経験に基づくイラスト満載のテキストやチームビルディングを盛り込んだ、楽しく学べる研修が遠方＆多忙な物流・営業マンにも好評を博している。

※出席される方は、マスク着用でのご参加をお願いいたします。



**「令和3年度トラック運送事業者のためのIT活用セミナー」申込書**

○ 支部名 \_\_\_\_\_ 支部

○ 事業所名 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 営業所)

○ 出席者名 \_\_\_\_\_

○ 電話番号 \_\_\_\_\_

**申込先 ⇒ FAX 024-558-7731**



## 事業所 磐城通運(株)が「エコドライブ活動コンクール」で優秀賞を受賞

磐城通運(株)は、全国1,431事業所が参加した交通エコロジー・モビリティ財団(エコモ財団)主催の「2021年度エコドライブ活動コンクール」において、優秀賞を受賞した。

同コンクールは、全国の乗用車・トラック・バス・タクシー等を保有する事業者を対象に、「グリーン経営認証」の認証機関であるエコモ財団が、「エコドライブ普及連絡会」(警察庁・経済産業省・国土交通省・環境省)及び「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の後援を受けて、優れたエコドライブ活動を実践している事業者を表彰する制度。



【表彰と盾を手にする興津社長・鈴木常務】

同社は、前年度までの事業所単位での参加を今年度より全社(本社・平支店・小名浜支店・湯本支店・植田支店・小名浜製錬営業所・火力営業所・自動車整備工場)での参加へと一本化した。

表彰式は11月26日に内幸町ホール(東京)で行われ、同社の鈴木常務にエコモ財団の岩村敬会長から表彰状と楯が授与された。

当日は表彰式のほか、慶応義塾大学名誉教授 飯田 訓正 氏が「自動車と環境問題」と題して基調講演を行った。

同社は平成17年12月にグリーン経営認証を取得し、継続してエコドライブ活動を推進しており、「全社での組織的な取り組み」「独自の資料を作成しての環境教育」「永年に亘るグリーン経営の積極的な取り組み」等を実践することにより、燃料使用量削減に努め、結果として交通事故の減少につながったことが評価されての受賞となった。

## 事業所 福島県北運輸(株)が「安全運転講習会」を実施



福島県北運輸(株)は、11月7日(日)に伊達市「保原中央交流館 大会議室」において社員教育の一環として「安全運転講習会」を実施した。

この講習会は安全運転による事故防止、エコ運転による環境に対する配慮を徹底し、安定した物流を実行するために開催され、福島日野自動車指導の基、「危険予知トレーニング(KYT)」、「車両整備講習」が行われた。

この取り組みは全支店、営業所を含んだ全社での取り組みとなっており、当日は多くの従業員が参加した。

## 会員だより

### 会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
5	NX東北トラック(株)福島支店	事業所名	NX東北トラック(株)福島支店	東北トラック(株)福島支店
10	アート引越センター(株)福島支店	事業所名	アート引越センター(株)福島支店	アートコーポレーション(株)福島支店
12	アート引越センター(株)郡山支店	事業所名	アート引越センター(株)郡山支店	アートコーポレーション(株)郡山支店
23	(株)東洋陸送社 郡山営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	鎌戸洋輔	加藤明義
24→22	(有)たむら農建	業 種	一 般	特 定
46	(株)ヒラマツ 福島営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	後藤 悟	百々秀樹
54	常磐港運(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	須藤照久	渡邊英樹
55	磐栄運送(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	丹治寛記	花崎恵多
58	アート引越センター(株)いわきセンター	事業所名	アート引越センター(株)いわきセンター	アートコーポレーション(株)いわきセンター
59	(株)ニヤクコーポレーション 小名浜事業所	代表者 (支店・営業所代表者)	森田高志	佐々木秀論

# 適正化 「標準的な運賃」活用セミナー(応用編)を開催

昨年10月に開催した「標準的な運賃」普及セミナーに続き、応用編となる本セミナーが12月13日(月)に郡山市「ビッグパレットふくしま コンベンションホール」において開催され、会員事業者88名が参加した。

セミナーでは、はじめに荒川専務があいさつし、日本PMIコンサルティング(株) 小坂 真弘 氏から「標準的な運賃」告示の概要・届出について、「標準的な運賃」を踏まえた原価計算、原価計算を反映した運行形態別運賃の考え方、荷主との交渉方法などの説明が行われた。

本セミナーは前回のセミナー内容をより実務的かつ実践的にした内容となっており、参加した事業者は、標準的な運賃の算出過程や標準的な運賃を活用した料金の算出方法などについて理解を深めた。



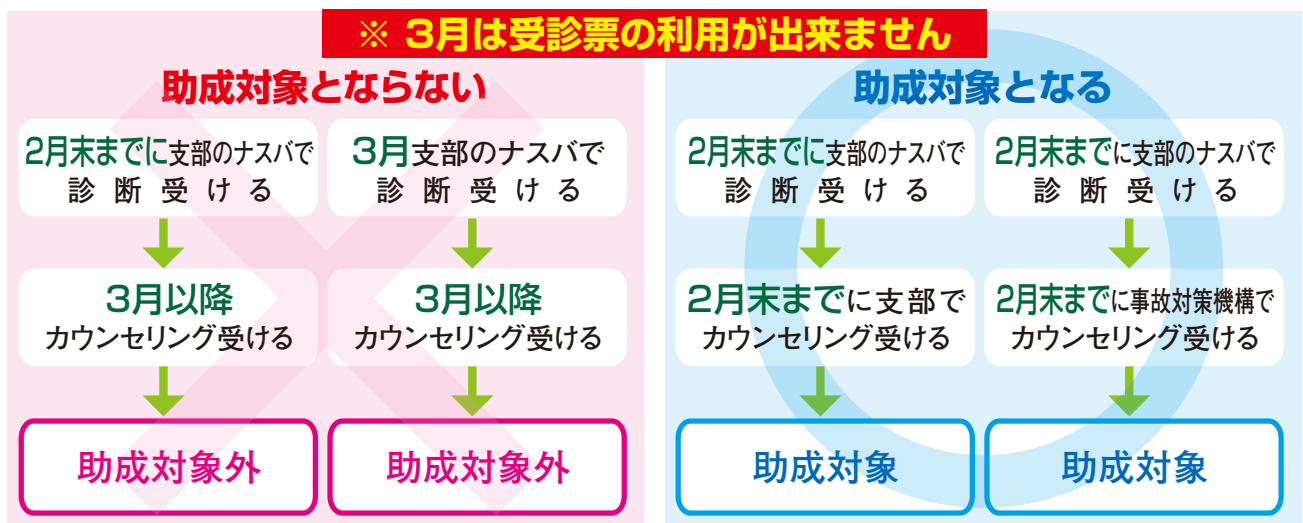
【セミナーの様子】

# 県ト協 支部における適性診断(初任・適齢)の受診についての注意

標記の件につきまして、支部において1月、2月の受診は、カウンセリングを2月末まで終了した場合は助成対象となります。3月以降終了する場合は助成の対象となりませんのでご注意ください。

助成金の交付を希望し、カウンセリングが3月以降になるときは、あらためて4月以降に初任・適齢診断の申し込みを支部にされますようお願いいたします。

また、適性診断受診票の利用は2月末までとなり、3月は利用できませんのでご留意ください。



初任診断・適齢診断は、2月末までに診断並びにカウンセリングを受けた方のみ助成対象となりますのでご注意ください。

# 支部 県北支部が親睦ボウリング大会を開催

県北支部、陸災防県北分会(蓬田 隆信 支部(分会)長)は、11月27日(土)に福島市「福島オークラボウル」において、健康増進ボウリング大会を共同開催し、24チーム(72名)が参加した。

大会は2ゲーム合計で個人戦・団体戦にて熱戦が繰り広げられ、会員同士より一層の親睦と参加者の健康増進を図った。



### 【個人戦】

優勝 嶋田 浩一 (福島倉庫)      準優勝 宍戸 正晴 (サエキ輸送)

### 【団体戦】

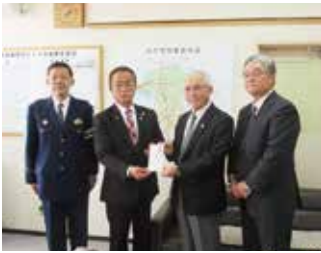
優勝 (株)サエキ輸送      準優勝 福島倉庫(株)



支 部

# 県中支部が交通安全活動基金贈呈及び交通遺児激励金を寄付

県中支部は11月30日(火)に交通安全活動基金の贈呈を田村地区交通安全協会（基金贈呈11回目）と本宮地区交通安全協会（基金贈呈7回目）に行った。基金贈呈額はそれぞれ3万円。また、12月7日(火)には、郡山市に交通遺児激励金を寄付した。これは10月30日(土)に開催した安全大会の出席者から集めた善意に県中支部からの浄財を加えたもの。県中支部の交通遺児への寄付金は昭和57年から続き40回目。累計金額は8百万円になる。



田村警察署

齋藤田村警察署長、  
吉田会長、太田副支部長、  
田母神事務局長（左から）



郡山北警察署

本宮分庁舎田村警察署  
小林本宮分庁舎所長、  
佐々木会長、田母神事務局長(左から)



郡山市

川瀬事務局次長、  
品川市長、松島支部長、  
田母神事務局長（左から）

支 部

# 県南支部が安全パトロールを実施

県南支部（橋本 一美 支部長）は、12月1日(水)に須賀川労基署管内7事業所、12月8日(水)に白河労基署管内東石地区会員6事業所の安全パトロールを実施した。

パトロールは、「令和3年度年末・年始労働災害防止強調運動」の一環として労働災害防止に向けた経営トップの決意と労働環境の改善の重要性を確認していただき労働災害、交通事故の絶無を目指すことを目的としている。

パトロールには橋本支部長のほか、菅家 紀男 須賀川労働基準監督署長、田村 美登里 白河労働基準監督署署長らが同行し、両署長からは、両管内の労災事故が多発していることから、年末・年始の繁忙期の労災事故防止に対する注意喚起、橋本支部長からは凍結防止の環境対策について注意喚起があった。



支 部

# 相双支部が年末事故防止講習会を開催



相双支部（佐藤 信成 支部長）と陸上貨物運送事業労働災害防止協会は12月10日(金)に南相馬市「ホテル丸屋グランデ」において年末事故防止講習会を開催し会員事業所54名が参加した。相馬労働基準監督署署長、相馬警察署地域交通課長含む4名による講演が行われ、飲酒運転、無免許運転手の絶無、トラック荷台からの転落防止、ロールボックスパレット使用注意点など、交通事故、労働災害防止方法について参加者は理解を深めた。



【厚生労働省補助事業】

# 事業場安全担当者への安全衛生教育講習会のご案内

陸上貨物運送事業の労働災害の70%は、トラックの荷台等からの墜落・転落等の荷役作業中に発生しています。さらにその70%は荷主等（荷主、配送先、元請事業者等）の事業場で発生しています。

このため、厚生労働省では平成25年3月に「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」（以下、「荷役ガイドライン」といいます。）を策定し、陸運事業者の実施事項、荷主等の実施事項を示し、陸運事業者及び荷主等それぞれに荷役災害防止の担当者を指名するとともに、荷役災害防止に必要な安全衛生教育を実施することと定めています。

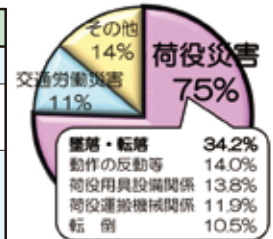
本年度は、この荷役ガイドラインに示された荷役災害防止の担当者に対する安全衛生教育を荷役ガイドラインの教育カリキュラムに基づいて下記日程により行います。

講習会の詳細は、陸災防本部及び陸災防福島県支部のホームページによりご確認ください。

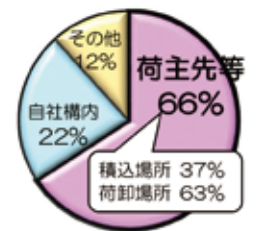
### 【荷役作業安全対策ガイドラインのポイント】

荷主等の実施事項	陸運事業者の実施事項
① 荷役災害防止担当者の指名と教育	① 荷役災害防止担当者の指名と教育
② 荷主等の労働者への荷役運搬機械に関する安全衛生教育	② 荷役作業従事者、作業指揮者に対する安全衛生教育
③ 陸運事業者への必要な荷役作業の通知、余裕を持った着時間の設定、作業場所の安全な環境確保、混在作業の調整	③ 荷主等の事業場における荷役作業の有無の確認と適切な対策等
④ 荷役作業における労働災害防止対策	④ 荷役作業における労働災害防止措置
⑤ 荷役作業における役割分担の明確化、配送先における荷卸しの役割分担の明確化、陸運事業者との連絡調整	⑤ 荷役作業における役割分担の明確化、荷主等との連絡調整
⑥ 自動車運転者に荷役作業を行わせる場合の疲労に配慮した着時間の弾力化	⑥ 自動車運転者に荷役作業を行わせる場合の疲労に配慮した運行計画の作成
⑦ 陸運事業者間で業務請負等を行う場合の必要な措置(元請事業者)	⑦ 陸運事業者間で業務請負等を行う場合の必要な措置(請負事業者)
⑧ 運送発注担当者等への改善基準告示の概要の周知	

【陸運業の労働災害の内訳】



【陸運業の荷役災害被災場所】



### ～講習会の主な内容～

- 1 開催日時 令和4年2月16日(水) 13:00～17:00
- 2 開催場所 福島県トラック協会 県中研修センター(福島県郡山市喜久田町卸三丁目5)
- 3 講習会カリキュラム

(1) 荷役作業における労働災害の現状と荷主等に求められる役割	福島労働局
(2) 荷役作業における労働災害防止対策	(3) 荷役作業の安全衛生教育
(4) 陸運事業者との連絡調整	(5) 労働安全衛生関係法令
	陸災防安全管理士

- 4 定員 定員50名程度(先着順)
- 5 参加費及びテキスト代 無料
- 6 参加申込み 申込みは、下記参加申込書にご記入し、陸災防福島県支部までファックスでお申込みください。(受講票等は送付いたしません)
- 7 修了証交付 本講習会を受講された方には、修了証を交付します。
- 8 講習会に関する問合せ先 陸災防 福島県支部 TEL: 024-558-9011

切り取り不要

陸災防 福島県支部 FAX: 024-559-1161

### 事業場安全担当者への安全衛生教育講習会参加申込書

参加者氏名	
事業場名	(業種: )
住所	〒 -
電話番号	TEL ( ) -
ご担当者氏名	ご担当者

参加申込書にご記入いただいた情報は、本講習会以外には使用いたしません。



新年あけましておめでとうございます



**東北交通共済**



をよろしく願いたします

東北交通共済は非営利組織として運送事業者に特化した自動車共済（保険）、自賠責共済（保険）、各損保商品の販売及びトラック事故防止事業を運営しております。

自動車保険に思い悩んでいる

## トラック協会会員の皆様全員集合!!

トラック協会と共に歩む全国トラック交通共済連合会加盟の東北交通共済にお気軽にご相談ください。

フェイス トウ フェイス! お会いしないとトラック共済の良さはお伝えできません。

悩む前にまずお電話を!! 保険設計、何でもご相談を!! 無料で承ります。



### トラック共済の特徴

- 1 トラック共済独自の掛金率。
- 2 台数割引は最大で10%、優良割引は最大で70%、業界トップクラスです。
- 3 契約後の異動・減車・解約処理はすべて日割りで計算します。短期率の処理は行っておりません。
- 4 優良割引率は損害率による算定方式を採用。共済金支払いによる優良割引率ダウンは1年度に20%を限度、また大口共済金支払い事故については2年度までの反映としており、過去の事故を長く引きずりません。
- 5 車両共済は、掛金の割増なしで価格協定としており1年間で共済価格は減価しません。
- 6 事故処理も契約者毎の担当者制を採用、事故担当者の顔が見える円滑な事故処理が可能です。
- 7 車両の入替えに車種による制限はございません。
- 8 決算剰余金が出た場合、利用分量配当金ができます。(過去最高16%)
- 9 不測の事態に備え、対人・対物の再共済制度に加入しておりますのでご安心ください。
- 10 損保の代理店業務も行ってまいりますので、3大メガ損保の商品(貨物補償制度・業務災害補償制度など)も取り扱っております。



### ご相談はお気軽に福島支部・郡山支部までお寄せください。

ご連絡いただければ職員がお伺いしてご説明申し上げます。

**☎ 福島支部** 担当 下田・齋藤

又は福島県トラック協会 荒川専務理事(東北交通共済理事)まで

〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32 TEL 024-555-0107 FAX 024-555-0108

**☎ 郡山支部** 担当 草野・佐々木

又は福島県トラック協会 荒川専務理事(東北交通共済理事)まで

〒963-0547 郡山市喜久田町卸3丁目7-2 TEL 024-953-3420 FAX 024-953-3421

 **1月の行事予定** 

日程	行事内容	開催場所
19日(水)	福島県トラック協会 第5回理事会	いわき市「小名浜オーシャンホテル」
27日(木)	プラン2025目標達成セミナー	郡山市「ビッグパレットふくしま」

**陸 災 防 技能講習等実施予定**

【フォークリフト運転技能講習】

開催地	学科	講習開催日		
		実	技	
郡山① いわき②	2月	25(金)	1: 2(水) ~ 4(金)	2: 8(火) ~ 10(木) 3: 15(火) ~ 17(木)
		18(金)	1: 2(水) ~ 4(金)	2: 8(火) ~ 10(木) 3: 15(火) ~ 17(木)

【はい作業主任者技能講習】

開催地	講習開催日
いわき	2月 21(月) 22(火)

【安全衛生推進者養成講習】

開催地	講習開催日
郡山	2月 8(火) 9(水)

【荷役災害防止担当者安全衛生教育講習】

開催地	講習開催日
郡山	2月 16(水)

【ショベルローダー等運転技能講習】

学科 開催地	学科	講習開催日	
		実	技
いわき	2月3月	3/11(金)	1: 2/15(火) ~ 2/17(木) 2: 2/25(金) ~ 2/27(日)
			3: 3/ 2(水) ~ 3/ 4(金) 4: 3/ 8(火) ~ 3/10(木)

※ 講習に関する詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.f-rikusai.org/>

陸災防 福島県支部 検索

**お知らせ 交通事故統計**

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は2020年に比べ2021年では発生件数(-24)、死者数(-1)、傷者数(-32)となっている。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

**第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況(11月末)**

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	2020年	12月	年間合計
2020年(概数)	発生件数	5	3	7	7	4	4	6	7	6	5	1	55	に比べて の増減数		63
	死者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1			1
	傷者数	5	3	14	6	4	4	8	9	10	10	1	74			85
2021年(概数)	発生件数	2	1	3	3	3	2	1	3	2	5	6	31	-24		
	死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1		
	傷者数	3	1	3	6	3	3	1	4	3	8	7	42	-32		



トラック広報 わだち1月号(通巻492号)

2022年1月1日発行(毎月1回1日)  
編集発行 公益社団法人福島県トラック協会  
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32  
TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731  
H.P <http://fukutora.lat37n.com/>

